

授業改善推進プラン(指導方法の課題分析と具体的な改善計画)

社会	指導方法の課題分析	具体的な授業改善	補充・発展的指導計画
1年			
2年			
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に対する意欲はあるが、地図から地域の特色を読み取ったり、考えることが苦手な児童が多い。 ・何を調べるかのめあてをもち、理由を考えながら観察や見学をする力をつけさせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区内の地図を活用し、特徴を色分けして塗るなどの作業の機会を多くして、地域の特色を意識できるように指導する。 ・事実に基づいた意見を積極的に認め、事実をふまえて考えることを習慣づけるよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習と関連、発展させて学習計画を立てる。 ・見学が困難なものや理解が難しいところでは、視聴覚教材やコンピューター、図書などの学習教材を活用する。
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や身近な地域から課題を発見する力、調べてまとめる力、生活に生かしていこうとする力を育てていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験したことや調べたことをまとめる学習として新聞作りに継続して取り組ませる。その際に、課題に対しての自分の感想をまとめさせて、思いをもたせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学が困難なものや理解が難しいところでは、視聴覚教材やコンピューター、図書などの学習教材を活用する。
5年	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に対する関心がある児童とない児童の差が大きい。 ・資料から読みとる力が不十分である。 ・資料を読みとり、さらに活用したり、自分の考えを導き出したりする力を育てたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT等の活用をして資料提示の工夫をし、関心を持ち取り組めるようにする。 ・統計表やグラフ、写真などの資料を活用し読み取れる時間を多く設定する。 ・資料から読みとったことを発表する機会を頻繁に取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンや図書などを使い自分で調べまとめる活動を取り入れる。 ・資料集やICT機器等を多く活用し、身近な統計表などにも興味をもたせる。 ・資料の読み取りが不十分な児童には個別指導を行う。
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史の学習に対する関心がある児童とない児童の差が大きい。 ・学習の課題を明確に持てない児童もいる。 ・資料を見て、そこからの気づきや自分の考えがもてるようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT等の活用をして資料提示の工夫をするなど、多くの児童が興味関心を持って学習に取り組んだり、課題を持って取り組めるようにする。 ・資料から読み取ったことを発表させたり、グループで意見交流をさせたりして、気づきや考えを表現する機会を多く設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理解が不十分な児童には机間指導をしながら教科書のポイントを示すなど個別指導を行う。 ・パソコンや図書、その他の資料を活用し、調べ学習を取り入れる。